

✧ 胸部

◆ 胸部X線

胸部にX線を照射して撮影し、異常陰影の有無、心臓の大きさ等を調べる検査です。

◆ 胸部ヘリカルCT（オプション検査）

胸部X線検査では発見が難しい初期の小さながんや末梢の肺がん、その他の異常がわかります。

肺がんをはじめとする呼吸器の検査では、体をらせん状に連続撮影して立体画像化する『ヘリカルCT』が診断精度が高く、効果を発揮します。

- ✓ 現在もしくは過去に喫煙歴のある方
- ✓ 家庭や職場で受動喫煙のある方
- ✓ 喫煙経験に関係なく、40歳以上の方
- ✓ 頻繁に咳が出たり痰が絡む方
- ✓ 近親者に肺がんなど、肺疾患の病歴がある方などにおすすめします。

【主な所見】

陳旧性炎症	過去に肺炎、気管支炎、肺結核などに罹患していると写る過去の炎症性変化です。過去の所見なので特に心配することはありません。
気腫性変化	主にタバコの煙により、ガス交換の場である肺の細胞が破壊され、呼吸が障害された状態です。喫煙中の方は禁煙をおすすめします。
結節影	境界がはっきりした、丸い形の影です。形や大きさなどにより、精密検査をおすすめすることもあります。
胸部異常陰影	結節影や陳旧性炎症等の所見とは判別しづらい、正常ではない所見の事を示します。速やかに受診し、精密検査を受けることをおすすめします。

肺がん	肺がんは、肺の気管、気管支、肺胞の一部の細胞がなんらかの原因でがん化したものです。進行するにつれてまわりの組織を破壊しながら増殖し、血液やリンパの流れに乗って広がっていきます。喀痰細胞診や胸部レントゲン、胸部CT検査によって早期発見することができます。
心陰影拡大	胸部レントゲン写真で心臓の陰影が大きく見える場合につける所見です。この中には本当に心臓が大きくなって肥大している場合や、肥満に伴い横隔膜が下がりきらなかった、心臓の周りに脂肪が沈着して心臓が大きく写って見えただけの場合もあります。